



## 自由な発想でつくる子どもたち

6月1日、砂場で1年生が楽しそうに活動しているのが見えました。砂場に近づくと、子どもたちが、砂で山をついたり、穴を掘ったり、プリン空きカップのような物に砂を詰めて何か形を作ったりしていました。話を聞いてみると、図工と生活科を合わせての学習しているようでした。

実際に子どもが作っている近くに行ってみると、1人で夢中で作っている子、グループで大きな作品を作っている子たちと、いろいろな作品ができていました。砂がすぐに崩れてしまうからか、中には、バケツに水をくみ、その水を砂に含ませて型を作っている子もいました。

子どもたち何人かに作品について聞いてみると、「これはケーキです。」とか「アイスを作ったよ。」等、教えてくれました。ケーキを作っていた子どもに詳しく聞いてみると「大きな山を作って、その上に飾りを付けた。」と教えてくれました。説明を聞くと、「ああ、なるほどね。」と思いました。

## 私が見つけた素敵な子どもたち

<2年生>

私は、いろいろなクラスをまわり、授業を見ることをしています。この前、2年生の教室へ行きました。そのクラスでは、算数の引き算のくり下がり（二桁）のまとめの学習をしていました。

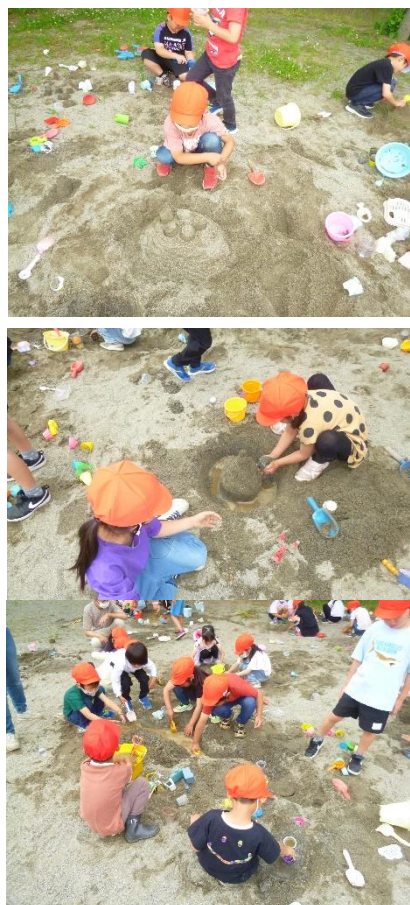
私は、問題に詰まっている子に声をかけ、問題が解けるようにヒントを与えながら、授業のお手伝いをしました。一通り解けるようになると、スキルで練習を進めていました。私も担任にならない、〇付けをしながら、わからないところをどうしたらいいかヒントを出しながら教えました。一生懸命に取り組み、多くの問題を解くことができていました。

授業が終わり、帰ろうとすると「また来て教えてください。」とか「また〇を付けてください。」などと、子どもたちから声をかけられました。学級担任だった頃を思い出して嬉しくなりました。

教室を出ると、一人の子が近づいてきて「いろいろ教えてくれて、ありがとうございました。」と、頭を深々と下げながらお礼を言いに来てくれました。私も「どういたしまして。」と応えました。「ありがとう。」の言葉は本当にいいものですね。不思議な力があります。

<朝のあいさつで>

最近、高学年の男子の中で、元気よくあいさつしてくれる子が増えてきました。あいさつを返してくれるときは、しっかり目を見てしてくれます。私とのあいさつを意識してくれているようです。これは、「私にあいさつをしてくれているんだ。」とはっきり分かり、



とても嬉しい気分になります。

これから、どんどんこのようなあいさつが広がっていくといいなあと思っています。友達同士や学年の違う人同士、地域の方々にも広がっていくことを期待しています。

## 読み聞かせボランティアが始まりました

6月5日より、読み聞かせのボランティアの方々による、読み聞かせ活動が始まりました。今回は、3・4年生に読み聞かせのため、5名の方に来ていただきました。3名は保護者、1名は卒業生の保護者、1名は地域の方でした。お忙しい朝の時間帯でしたが、都合を付け来てくださりありがとうございました。

3・4年生のクラスを一つ一つまわり、様子を見させていただきましたが、ボランティアの方々は、子どもたちに、丁寧に話しかけるように、時には嬉しそうに、時には悲しそうにと、心を込めて読んでくださいました。子どもたちは、聞き漏らさないように耳を傾け、目は、本に集中していました。教師が、いつもしている読み聞かせではなく、多くの方々からいろいろな解釈で読み聞かせをしてもらうことで、その本に対する解釈が広がり、とてもいい効果が出そうです。子どもたちは、なんとも良い時間を過ごすことができたと思います。

今後は、7月10日まで、毎週月曜日に来てくださる予定になっています。これからもどんどん広げたい活動です。多くの保護者の方々に、ご参加いただくとありがたいです。



## 「プール開き」をしました

5月26日には、6年生がプールの清掃をしてくれました。約10ヶ月間、そのまま汚れたプールを、見事にきれいにしてくれました。6年生全員のかってすごいなあと感じました。

6月5日、校長、児童会長、体育主任の3人でプール開きの儀式をしました。今シーズン、安全にプールが実施できますようにと手を合わせてお祈りをしました。3年ぶりの本格的な水泳授業となります。

